

あなたも先輩も先生も 大学で学び合うために… ウソ(不正)は絶対いけません。

1. 事実ではないことを 事実と偽るウソ

これを **造り**
わつ
と呼びます

自分の意見を伝えるときには、事実にもとづいた発言が求められます。本当はなかったことを、あたかも本当であるかのようにウソをつくことは許されません。

2. 文章やデータの内容を 勝手に変更するウソ

これを **改ざん**
と呼びます

とはいえ、事実にもとづいて話をするようにしても、その事実そのものをこっそり自分の都合の良いように変えたり、ごまかしたりしてはいけません。

3. 他人のアイデアを盗み、 自分のアイデアにするウソ

これを **盗用(とうよう)**
と呼びます

他人の意見やアイデアを参考にして、自分の考えを深めることは大切です。ただし、他人の意見をまるで自分のもののようにしてしまうと、それは「盗み」になります。他人の意見を認めて「借りる」ようなやりかたで自分の意見を述べる方法はいろいろありますので、そのための「マナー」をこれから学んでいきましょう。

「コピー」について

本やインターネットの文章をまるごと写す「コピー&ペースト(コピー)」自体は不正ではありませんが、それを「自分の意見」にすれば不正になります。「コピー」をしたときは、「出典」(どこに載っていたものか、誰の書いたものか、といった情報)をかならず明記するのがルールです。これにより「他者の意見」と「自分の意見」を明確に区別することができます。テストやレポート課題でも、「コピー」して出典を明記せず、自分の意見とすれば不正になってしまいます。

